

			令和 6 年度		点数		昨年度 比較	検討項目 ★
大項目	中項目	番号	小項目	総計	平均			
的念Ⅰ ・教育 目理	教育目標の設定と分析	1	教育理念並びに教育目標が教職員・生徒に浸透しているか。	8	2	横ばい		
		2	教育目標に、卒業時において持つべき准看護師の資質を明示している。	12	3	横ばい		
		3	卒業時の到達状況を分析し、教育活動にフィードバックしている。	11	2.75	横ばい		
Ⅱ ・教育 課程	教育課程の評価	4	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか。	12	3	横ばい		
		5	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化に合ったものに修正しているか。	11	2.75	上昇		
	授業概要(シラバス)の妥当性	6	授業概要(シラバス)は、生徒が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか。	8	2	横ばい		
	進級・卒業認定の公平性・妥当性	7	生徒に進級認定・卒業認定のための評価基準を公表しており、かつ、評価が公平性・妥当性に保たれているか。	10	2.5	下降	★	
	実習環境・指導体制の妥当性	8	実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っているか。	9	2.25	横ばい		
	実習における倫理的配慮	9	実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者の同意を得た上で実施しているか。	12	3	上昇		
	生徒指導上の人権への配慮	10	生徒指導において、生徒に対して人権への配慮がなされているか。	10	2.5	下降	★	
Ⅲ ・教育 活動	時間割の妥当性	11	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整している。	12	3	上昇		
	指導方法・内容の妥当性	12	授業内容や指導方法が生徒のレベルに合うよう工夫し、改善しているか。	11	2.75	上昇		
	不合格者への対応	13	不合格の原因分析を教員側と生徒側で実施し、対応策を講じているか。	10	2.5	横ばい		
	授業担当者の妥当性	14	授業の一貫性を確保するため、1教科の担当者数を最小限にするとともに、担当者間の連絡が取れているか。	9	2.25	横ばい		
	生徒による授業評価	15	生徒による授業評価を実施し、授業の改善に努めているか。	12	3	横ばい		
	インシデントの分析・把握	16	実習において、生徒が関係したインシデント等を把握・分析しているとともに、改善策を講じているか。	12	3	上昇		
	実習指導者の役割と協働	17	実習指導者と教員の役割を明確にしているとともに、実習指導者と教員の協働体制を整えているか。	12	3	上昇		
	学院運営	目標の設定	18	学院のビジョン及びそれを実現するための目標と事業計画を策定し、かつ、教職員に理解され、教職員の提案をいかしているか。	13	2.6	上昇	
			19	目標に対する評価を年度内に実施し、次年度に繋げているか。	15	3	上昇	
		組織・運営体制	20	運営組織や意思決定システムは明確で効率的になっているか。	13	2.6	上昇	
			21	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか。	12	2.4	下降	★
	22		運営会議や各種委員会の決定事項は職員に周知され、議事録は適切に作成・管理されているか。	14	2.8	上昇		
	財務	適正な予算の進行管理	23	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進行管理を行っているか。	14	2.8	横ばい	
	法令などの遵守	個人情報保護	24	生徒、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか。	14	2.8	上昇	
			25	自己点検・自己評価の意味と目的を理解しているか。	14	2.8	横ばい	
		自己点検・自己評価の体制	26	自己点検・自己評価は、カリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能しているか。	14	2.8	上昇	
			27	自己点検・自己評価の結果を公表し、特色ある学校づくりを進めているか。	15	3	上昇	
			教職員の確保・育成	28	将来構想、中期、短期計画とその目標に基づき要員計画・採用計画を策定しているか。	11	2.2	横ばい
		29		優秀な人材を採用するための募集活動、研修計画はあるか。	12	2.4	上昇	
		情報のシステム化	30	生徒情報管理システムによる整備はされているか(入学から卒業までの情報管理)。	13	2.6	横ばい	
			31	業務の効率化を図る情報のシステム化はなされているか。	13	2.6	上昇	
			危機管理体制	32	災害など非常時の危機管理体制が整っているか。	14	2.8	上昇
		33		校舎は、耐震性に優れた構造になっているか。	7	1.4	上昇	★
		施設設備・教材の妥当性	34	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか。	9	1.8	横ばい	★
			35	図書室は適切に整備されているか。	13	2.6	上昇	
			36	生徒のために、休息、親睦及び交流などを行うためのスペースが設けられているか。	14	2.8	上昇	
			37	学院運営などに生徒の意見が反映されているか。	12	2.4	上昇	
	生徒への支援	心身の健康管理	38	生徒の心身面での健康管理体制が整っているか。	13	2.6	上昇	
		生徒相談の実施	39	学院生活、進学、就職に関して生徒の相談に十分に応じているか。	14	2.8	上昇	
		進学・就職先での評価	40	前年度の卒業生の進学先、就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか。	15	3	上昇	
		保護者との連携	41	保護者と適切に連携しているか。	14	2.8	横ばい	
		卒業生への支援	42	卒業生への支援体制はあるか。	13	2.6	上昇	
	生徒の募集と受け入れ(入学希望者開拓)	43	生徒募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法・時期は適切か。	15	3	上昇		
		44	学院案内(募集要項)の内容は志願者が必要な情報が掲載されているか。	15	3	上昇		
		45	学院説明会、学院見学会(オープンキャンパス)の時期・内容は適切か。	14	2.8	下降		
		46	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	14	2.8	横ばい		
		47	志願者状況、定員充足率はどうか。	7	1.4	下降	★	
	教育成果	48	准看護師試験対策に個々の生徒にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか。	14	2.8	上昇		
		49	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか。	14	2.8	上昇		
		50	卒業生の県内就職率を高めるよう努めているか。	15	3	上昇		
	社会貢献	51	教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っているか。	14	2.8	上昇		
		52	地域における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り組んでいるか。	14	2.8	上昇		
		53	学院が設置されている地域の特徴を把握しているか。	14	2.8	上昇		
	教職員の資質向上	54	研修や出張で学会などに参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがある。	15	3	上昇		
		55	教員の授業を他の教員が参観、評価できる制度がある。	15	3	横ばい		
				総点 満点 達成率	686 774 89%	2.7 ←平均値		